

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	障がい者支援センターあゆの里		
開催日時	令和7年7月30日(水) 14:00～15:00		
開催場所	障がい者支援センターあゆの里 別館多目的室		
出席者	構成員	人数	備考
	経営に知見を有する方	1名	
	福祉に知見を有する方	1名	
	入居者代表	1名	
	入居者ご家族代表	1名	
	地域の関係者	1名	
	市町村担当職員	1名	
	事業所職員	3名	
議題	① 入所施設の訪問について ② 地域移行意向確認に関するアンケート調査について ③ 障がい者支援センターあゆの里で生じた障害者虐待について ④ 地域との連携について ⑤ その他		
協議内容・意見等	① 入所施設の訪問について ・話し合いの結果8/29(金)の10:30～となる。 ・事業所職員より訪問の際の留意点について説明行う。 ② 地域移行意向確認に関するアンケート調査についての報告 ・アンケート内容：これからあゆの里で暮らしたいですか？ ・アンケート実施日：令和7年1月25日～2月28日 ・入所利用者：30名（男性20名／女性10名） ・アンケート結果：はい23名／いいえ7名 ・アンケート方法：コミュニケーションが図れる方には口頭で行う。発語が難しい方はコミュニケーションボードを使用して行う。どちらも難しい方は保護者や後見人の方に代理で回答をいただいた。 ※はいに関しての主な理由 ・あゆの里が好き ・仲の良い利用者がいるから ・好きな職員がいるから ・外出支援が楽しいから ・永く住んでいるので愛着がある ・作業が好き ・カラオケが出来るから ・欲しいものを買ってきてもらえるから ・自分の年齢を考えると他へ移るのは難しいと思う ・24時間職員が居てくれるので安心・安全		

協議内容・意見等	※いいえの方の主な理由 ・実家楽しい ・一人部屋が良い ・バリアフリーじゃないのが不安である ・グループホームから B 型事業所に通うのが夢である ・作業が嫌いなので ※いいえの方はどこで暮らしたいですか？ ・グループホーム 2 名、自宅（家族と同居）2 名、他施設 2 名、一人暮らし 1 名 ※アンケート結果から見えるもの 1. 理由はさまざまであるが入所者の約 76%がこれからもあゆの里で暮らすことを望んでおり、地域移行のニーズは高くない。 2. 国の施策として地域移行を進める方向だが、上記アンケート結果からも機械的に入所から地域への移行プログラムを推進すべきではなく、入所者の意向を汲んで段階的に地域移行を図っていくべきであろう。特にリロケーションダメージには配慮が必要となるだろう。 3. 国が入所から地域への移行を進める理由の一つとして入所施設の閉鎖性が挙げられる。これに対して地域へ開かれた入所施設、一人一部屋体制を確立し、通常の家と同じような環境を整備することも必要となる。なお、あゆの里では 2 年後を目途に増床し、一人一部屋体制の整備に着手する予定である。またバリアフリーについても新棟建設に合わせて全面バリアフリーを確立する予定としている。 ・アンケート結果に関しての質問等はございますか？（事業所職員） ・年齢を重ねてからの環境の変化は不安な事も多く難しい場合もあるでしょう、国は地域移行を推進しておりますが、住み慣れた場所で暮らし続けるのも幸せなことではないかと考えます。しかし、いいえの意見の中には一人部屋やバリアフリーを希望されている方もいらっしゃいます、その点についてはどうお考えですか？（経営に知見を有する方） ・バリアフリーの施設を希望されている方とのモニタリングでの内容なのですが、利用者の方の要望を聞いたうえで、希望に沿うような施設の紹介や見学を促しているところです。実際に見学して頂くことにより選択肢を増やしていただけたらと考えています。又、B 型事業所へステップアップされた方もいらっしゃいます。（事業所職員） ・バリアフリーであるとか一人部屋の体制については積極的に環境整備を行っていく予定です。（事業所職員） ・アンケートを行ったことにより皆さんの考えを知る良い機会となったように感じました。定期的にアンケートを実施されてみてはいかがでしょうか。（経営に知見を有する方） ・はい、今後もアンケートは定期的に行っていく予定としております。（事業所職員）
----------	---

協議内容・意見等	③ 障がい者支援センターあゆの里で生じた障害者虐待について 【事案1】（身体的虐待） ・令和4年5月26日の正午頃、利用者が屋外で雨に濡れていた為、室内に誘導しようとするも動こうとされなかったので、利用者の臀部付近を蹴って室内に誘導しようとした。 【事案2】（金銭的虐待） ・令和5年1月から12月まで担当利用者の預かり金からジュースを購入する際、全額使わずに残金を着服していた。 ・経済的虐待についてですが、こういった事例を立証するのは難しいと思われていますがどのようにして発覚したのですか？（市町村担当職員） ・出納簿に記載してある金額やジュース代の残金などに違和感を覚えたのがきっかけでした。確たる証拠を掴むために時間が掛かってしまいましたが、一人ひとりの資産を守る為に徹底的にチェックを行っていきたいと思っています。 ※虐待を防止するためには（あゆの里の取り組みについて） ・虐待防止委員会の設置。 ・虐待防止研修を年2回実施（ハラスメントに関する内容も含む） ・身体拘束に関する研修を年1回 ・こういった研修などを通じて職員の意識変革を図り、二度と虐待が起きないように努めて参ります。（事業所職員） ④ 地域との連携について 【現在あゆの里で行っている活動について】 ・ふれあい感謝祭（年に一度施設での催し物）を開催し地域の人々やご家族の方との交流を図っている。 ・農福連携 地域の保育園から園児を招いて野菜の収穫体験を行っている。 ・9月に甲佐町でポッチャ大会を開催しますので案内が届きましたら是非参加してもらいたいと思っています。利用者10名程で参加していただき、代表者1名（参加利用者の中から）に開会の挨拶をしていただけたら幸いです。（市町村担当職員） ・スポーツに関する担当職員に参加するように伝えておきますので是非お願いします。（事業所職員） ・この地域連携推進会議も地域との貴重な交流の場であると思います。又、地域の中学校や高校などから学生を招き、あゆの里の見学なども行っていけたらと考えています。（事業所職員） ⑤ その他 ・会議は原則として年1回の開催（臨時の会議を除く）となります。 ・次回の会議は令和8年の7月～8月を予定。
----------	--

協議内容・
意見等

協議内容・
意見等